



# げやきっ子

令和4年10月28日  
六栄小学校だより  
第12号  
校長 下田 真壽

令和4年度スローガン 「子どもたちに寄り添う『チーム六栄』」

## 教育事務所・教育委員会 学校訪問

18日(火)玉名教育事務所、長洲町教育委員会の方々による学校訪問が実施されました。授業だけでなく登校から子どもたちの様子を参観されます。

朝7時50分。運動場では、陸上記録会の練習に向けて保健・体育委員会の子どもたちがラインを引き始めました。走り幅跳びのために砂場の整地も行っています。ラインが引き終わったら、100m走、リレーの練習が始まりました。低・中学年の子どもたちは、ブランコの乗ったり、リレーの邪魔にならないように鬼ごっこをしたりして楽しそうです。

花壇の草取りをしている子ども(係り活動でしょうか)。

ペットボトルに水を入れて学級園に向かう1年生。学校園にホースで水かけをする栽培委員の子どもたち。

西門では6年生の運営委員の子どもたちが「あいさつ運動」をしてくれています。5年生の運営委員は、正門の落ち葉を掃くためにタカ箒を持って移動してくれています。いつもの朝の光景です。

そしてあいさつ。全学年の子どもたちが元気な声で「おはようございます」。立ち止まってあいさつする子どもも多数いました。

「朝の様子は、今まで訪問した中で一番活気があります」

校長としては嬉しい言葉でした。「授業中も活気がありますよ」と言いたかったのですが、万が一活気がなかったら困るのでぐっとこらえました。(毎日授業を見ているので、万が一がないことは分かっていますが・)

2・3時間目。全職員の授業を参観されました。授業中も子どもたちは、いつも通り生き生きと学習を進めていました。

「先生方も明るいエネルギーであふれていますね」

今後も、明るいエネルギーがあふれる六栄小であり続けます。



## 「心の優勝旗」獲得 そして 町新記録

20日(木)5・6年生が参加して3年ぶりに「親睦陸上記録会」が行われました。前日練習後、①目標(めあて)を達成できるように頑張してほしいこと②「親睦」なので六栄だけでなく他の学校もしっかり応援してほしいこと③早く寝ることの3つを話しました。子どもたちと話す中で、町の新記録をねらっているという言葉も聞くことができました。

快晴の中での記録会。参加した全員の子どもたちが必死の形相で全力を出し切りました。その姿に、私は「心の優勝旗」をもらった気持ちになりました。

「5年走り高跳び」に参加した 城戸桜 さん。

練習での自己記録を更新する125cmをクリア。新記録のかかる126cm。最後の試技である3回目。「いける。いける。いける」私は心の中で言い続けました。祈りが通じたのか見事クリア。教頭から借りた一眼レフでのベストショットです。右下で担任が見守っています。

テントに帰ると、同種目に参加した6年生の女子が「おめでとう」と拍手を送ってくれました。この様子にも「心の優勝旗」をもらいました。

桜さんへのインタビューです。

「友達の期待が大きかったので、新記録を出して気持ちが楽になりました。みんな『おめでとう』とたくさん言ってくれて、跳ぶことができ本当によかったなと思いました。定松先生、平瀬先生がコツを教えてくださいましたので、期待にこたえることができ嬉しいです。」

私は写真を渡したかったのですが「いりません」ということでした。もう次の目標に向かっているのでしょうか。(カッコいいです)

